

歴史的街並み保全の国際比較

歴史的街並みは地域の観光資源であり、住民の住まいであり、地域アイデンティティの表象でもあります。このような複雑な要素を絡め合わせている存在は現在、世界各国において保全活動が進められています。そこにどのような相違点があるのかを日本と海外のケースを比較して、保全に向けた新たな発想を喚起していきます。

張 紅 助教

- 出張講義分野
文化地理学、観光地理学
- 研究分野のキーワード
歴史的街並み、保全、日本、中国
- 専門分野
文化地理学、観光地理学



大学ではこんなことを研究しています

歴史的街並みといっても、地域や国によって異なる保全の仕方がとられています。地域に足を運び、住民の話を聞き、それぞれの地域がどのようにして自らのふるさとである歴史的街並みを保全してきたのかを調査して、論文にまとめます。できれば、地域のよりよい発展にも提案をしていきたいと考えています。

先生からメッセージ

「万巻の書を読み、万里の道を行く」。本を読まない、どのように地域を見ればよいか分かりません。かといって、本だけ読んでも、本当の地域を知ることができません。本を読むことと地域を歩くことの往復運動によって、地域の本当の姿を初めてつかむことができるのです。これが大学における地理学の基本原理です。高校までの地理学は知識の詰め込みのイメージがあるかもしれませんが、大学の地理学はその知識を応用して、新たな分析方法を学んで地域のことを解読していきます。旅行好き、写真好きの方におすすめの学問です。

略歴 中国出身。筑波大学生命環境科学研究科地球環境科学専攻修了。博士(理学)。
山形大学、筑波大学RA(リサーチアシスタント)・TA(ティーチングアシスタント)を経て、2023年4月より現職。